

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	此花区
学 校 名	大阪市立四貫島小学校
学校長名	森石 泰生

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・四貫島小学校では、第6学年 20 名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 国語・算数ともに大阪市・大阪府・全国平均を大きく上回った。
- 高得点寄りの分布。無解答率は国語0.4%、算数0.9%で大阪市・大阪府・全国平均よりきわめて低い。
- 平均正答率は、国語算数とも全ての領域で大阪市・大阪府・全国平均を大きく上回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕無解答率が0.4%であり、基礎的な学力や時間内で解答する力が見についている。文章を読み取り、考えたことを記述して答える問題は、他の全ての問題と比較して、正答率が低い。目的を意識して、文章と図表とを結びつけ必要な情報を見つけることや、中心となる語や文を見つけて要約することに対して課題が見られる。

〔算数〕「変化と関係」領域の正答率が高く、総合的に問題を捉え、解答することを得意とする児童が多い。他の領域に比較して「図形」領域の正答率が低い。複数の図形を組み合わせた図形の面積について、図形の性質や構成要素、構成の仕方に着目していくことに課題が見られる。題意を捉え、自分が考え、判断したことを要約し、記述して答える問題に課題が見られる。

質問紙調査より

〔基本的生活習慣〕

○朝食を毎日食べている児童の割合は③76.2%で、前回調査③79.3%に比べ若干減少した。毎日同じ時刻に寝る子どもの割合（③79.3%⇒③85.7%）は全体の8割を超え、概ね規則正しい生活を送っていることが分かる。学校だより、保健だより等の配付物等により、今後も基本的生活習慣を確立することの大切さについて積極的に啓発していく。

〔自尊感情・規範意識〕

○自分にはよいところがあると思える児童（③65.5%⇒③90.4%）、将来の夢や目標を持っている児童（③79.3%⇒③90.5%）、自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている児童（③85.8%）、人の役に立つ人間になりたいと思う児童（③91.2%⇒③95.2%）の割合が高く、自尊感情の高まりを感じ取ることができる。

○全ての児童が、いじめを許さない強い気持ちを備えており、児童一人一人の規範意識はたいへん高い。今後も継続的に指導を行う。

〔学びの充実〕

○学校に行くのは楽しいと思う児童の割合が大きく減少している（③93.1%⇒③76.2%）。新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強に不安を感じていたり（③71.4%）、計画的に学習を続けることができてはいたが（③66.6%）、規則正しい生活を送れなかったり（③28.6%）していた状況を踏まえて考えると、コロナ禍による通常通りの学校生活が送れないことに不安を抱えている児童の多さを感じることができる。

○算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えていること（③85.7%）や、新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったときに、分からないことをそのままにせず（③0%）、家族に聞いたり（③85.7%）自分で調べたり（③85.7%）して解決に導いていたことから、すべての児童が課題解決に向けて主体的に粘り強く取り組む活動ができていることが分かる。

[家庭学習・学習習慣]

○1日当たりの学習時間が1時間以上である児童は全体の71.4%で、全国平均と比べても高い割合となった。前回調査と比べても大きく改善が見られる(③155.1%)。一方で、「全くしない」と答えた児童がおり(③10%⇒③14.3%)、さらなる学力向上を図るためにも、家庭での学習習慣の確立をすすめていきたい。今後も、具体的な方法や内容を児童に示し、自主的な学習習慣を育てていきたい。

○読書を全くしない児童の割合が全体の約1割(③31%⇒③9.5%)で、前回調査よりも改善が見られるものの、全国平均(③24.0%)に比べて高いことから、保護者や学校図書館補助員と連携して、児童の読書環境のいっそうの充実を図り、本に親しみ、読書を楽しめる児童を育てる。

[学校・家庭・地域の連携]

○今住んでいる地域の行事に参加している児童(③61.9%)や、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある児童(③66.7%)の割合が、全国平均に比べても高く、地域や社会への関心が比較的高い。今後もPTA、地域各種団体とともに連携を進め、地域に根ざした児童の育成に努める。

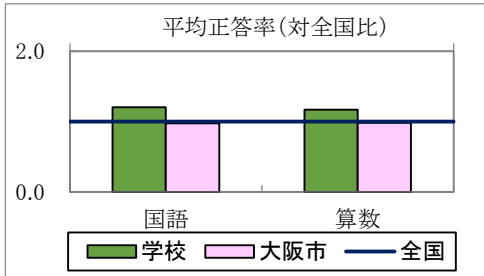
今後の取組(アクションプラン)

いっそう学力の定着を図るために、学校だより、保健だより等の配付物等により、今後も基本的学習習慣を確立することの大切さについて積極的に啓発していく。さらなる学力向上を図るためにも、家庭での学習習慣の確立をすすめていく。今後も、具体的な方法や内容を児童に示し、自主的な学習習慣を育てていきたい。また、児童の読書環境のいっそうの充実を図るために、保護者や学校図書館補助員と連携して、本に親しみ、読書を楽しめる児童を育てる。読み聞かせボランティアや朝の読書週間など、継続して行う。

【 全体の概要 】

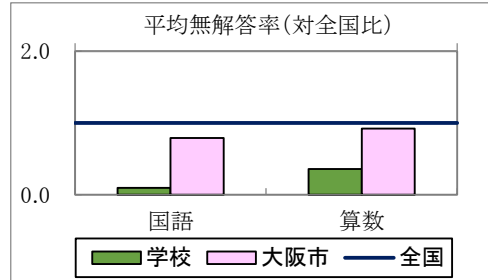
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	78.0	82.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率（％）

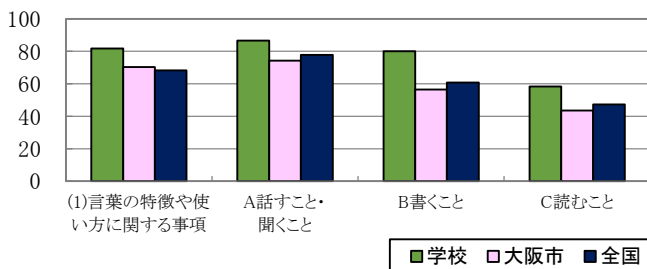
	国語	算数
学校	0.4	0.9
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



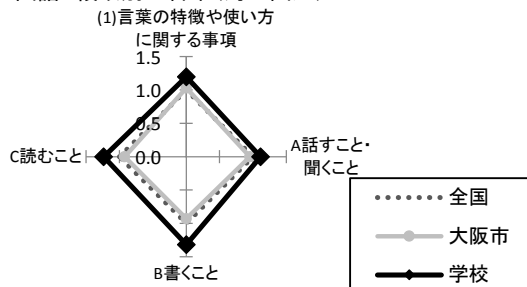
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	6	81.7	70.3	68.3
(2)情報の扱い方 に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	86.7	74.3	77.8
B 書くこと	2	80.0	56.4	60.7
C 読むこと	3	58.3	43.5	47.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



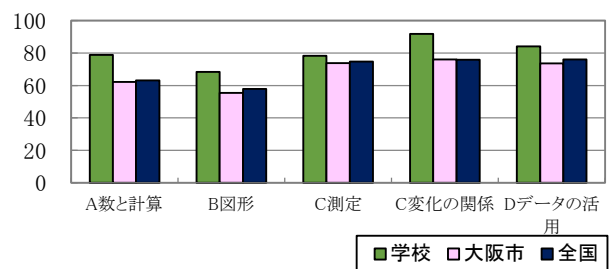
国語 領域別正答率(対全国比)



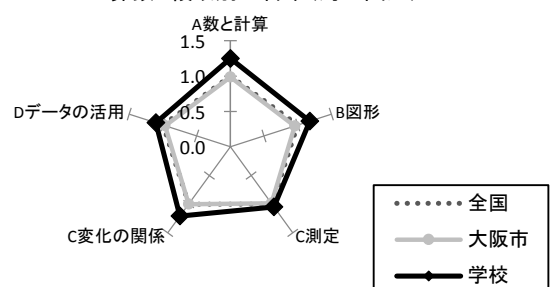
【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	78.8	62.2	63.1
B 図形	3	68.3	55.4	57.9
C 測定	3	78.3	73.8	74.8
C 変化と関係	3	91.7	76.0	75.9
D データの活用	5	84.0	73.6	76.0

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

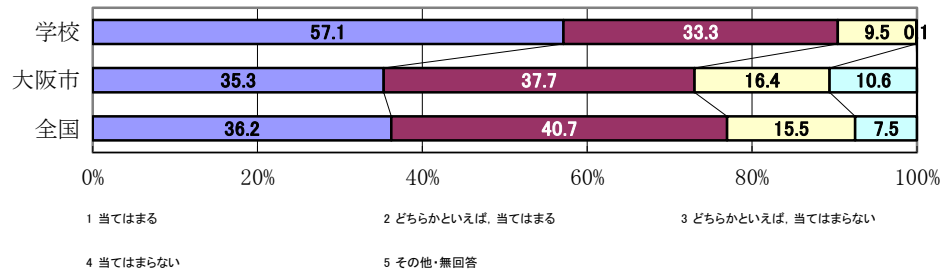
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

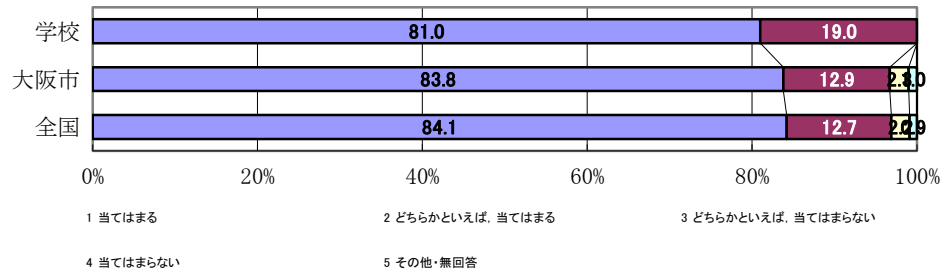
6

自分には、よいところがある
と思いますか



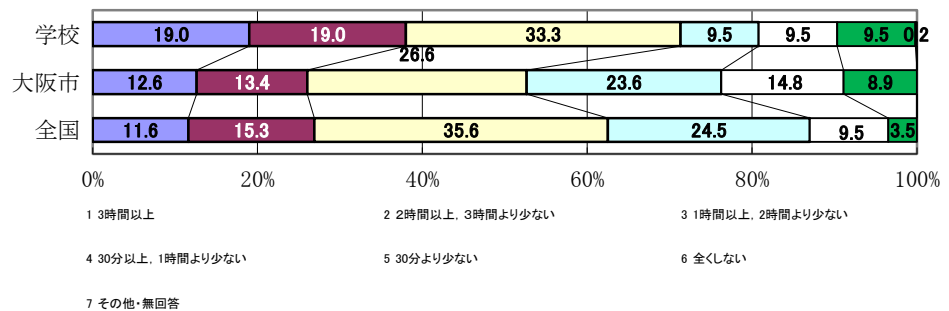
11

いじめは、どんな理由が
あってもいけないことだと思
いますか



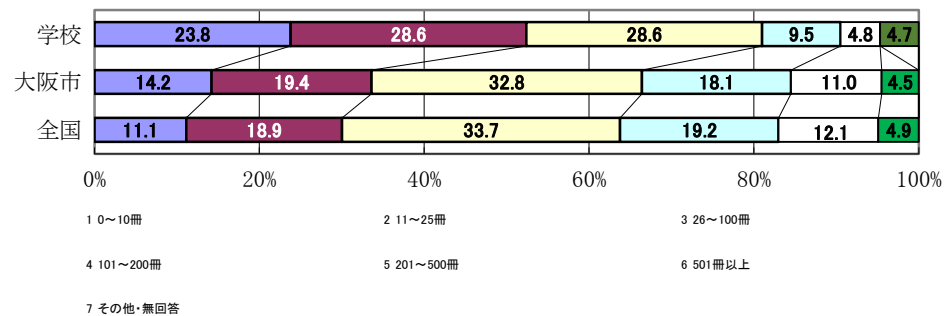
18

学校の授業時間以外に、
普段(月曜日から金曜日)、
1日当たりどれくらいの時
間、勉強をしますか(学習
塾で勉強している時間や家
庭教師の先生に教わって
いる時間、インターネットを
活用して学ぶ時間も含むま



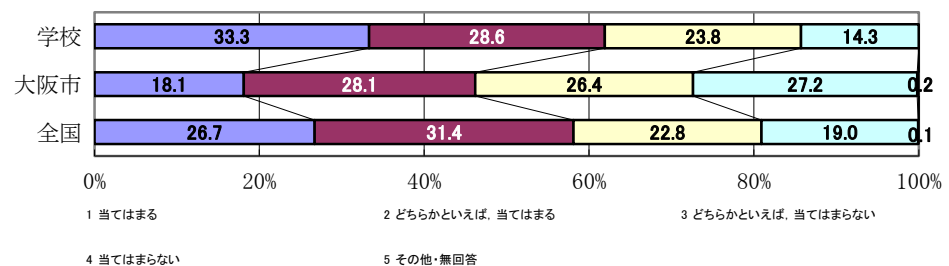
22

あなたの家には、およそど
れくらいの本がありますか
(雑誌、新聞、教科書は除
きます)



24

今住んでいる地域の行事
に参加していますか



児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

67

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか。当てはまるものをすべて選んでください

